

平成 23 年度 名古屋の中・高校生の卒業後の状況 （「卒業後の状況調査」）

I-1 中学校卒業者数は長期的に減少傾向

平成 22 年度に名古屋市内の中学校を卒業した者は、前年度に比べ 800 人（3.8%）減少し 19,986 人となり、中学校卒業者は長期的には減少傾向にある。

男女別にみると、男子は前年度調査に比べ 502 人（4.7%）減少して 10,120 人となり、女子は同 298 人（2.9%）減少して 9,866 人となった。【付表 1-1、図 1-1 (1)、第 1 表】

次に、状況別にみると、高等学校等への進学者が 19,515 人（構成比 97.6%）で最も多く、就職者（就職進学者及び専修学校等入学者のうちの就職者は除く）が 124 人（同 0.6%）、専修学校等入学者（就職者を含む）が 35 人（同 0.2%）、「上記以外の者」が 310 人（同 1.6%）となっている。

卒業後の状況について 10 年前と比較すると、進学者の割合は平成 12 年度の 96.1%から平成 22 年度の 97.6%へと 1.5 ポイント上昇する一方、就職者の割合は 1.5%から 0.6%へ 0.9 ポイント、専修学校等入学者の割合は 0.5%から 0.2%へ 0.3 ポイント低下した。また、「上記以外の者」の割合は 1.9%から 1.6%へ 0.3 ポイント低下した。【図 1-1 (2)、第 1 表】

付表 1-1 中学校卒業者数の推移

年 度	総 数	男	女
平成 元年	32,393	16,679	15,714
2年	29,988	15,357	14,631
3年	28,377	14,401	13,976
4年	26,993	13,796	13,197
5年	26,363	13,547	12,816
6年	24,936	12,737	12,199
7年	24,094	12,430	11,664
8年	23,530	11,996	11,534
9年	23,335	11,846	11,489
10年	23,789	12,189	11,600
11年	23,105	11,872	11,233
12年	22,159	11,323	10,836
13年	21,394	10,777	10,617
14年	21,428	10,911	10,517
15年	20,741	10,697	10,044
16年	19,905	10,070	9,835
17年	19,729	9,988	9,741
18年	19,733	9,943	9,790
19年	20,094	10,128	9,966
20年	19,996	10,153	9,843
21年	20,786	10,622	10,164
22年	19,986	10,120	9,866

図 1-1 (1) 男女別中学校卒業者数の推移

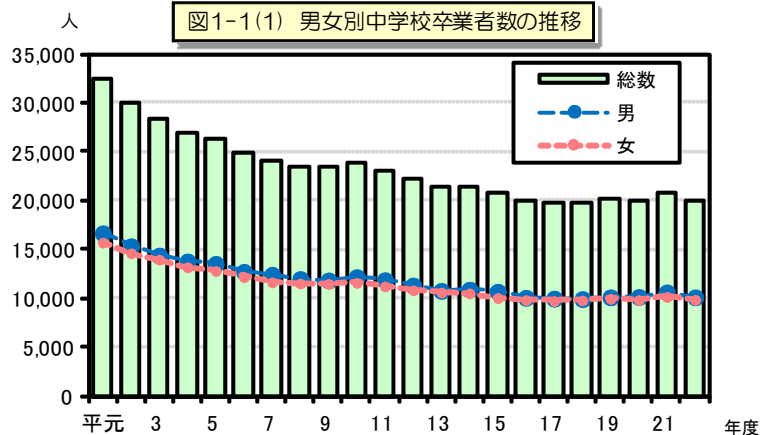
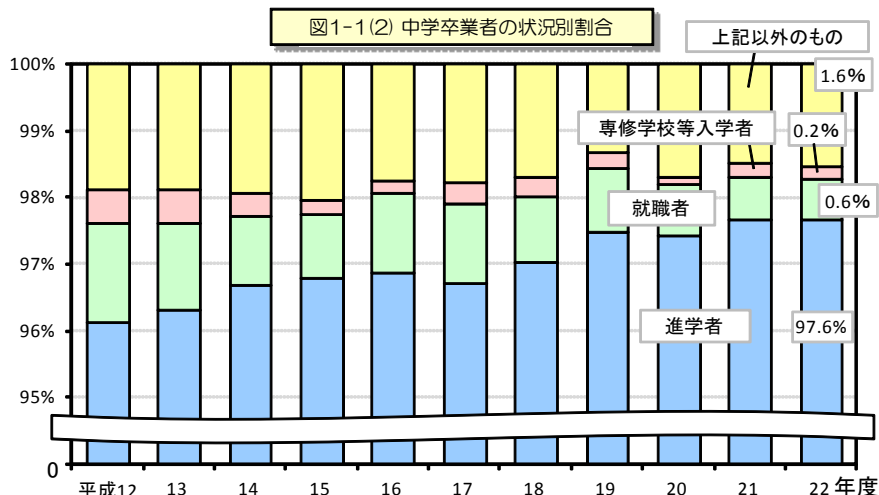


図 1-1 (2) 中学卒業者の状況別割合



※ 「上記以外の者」とは、家事手伝いをして
いる者、外国の高等学校に入学した者又は進
学者、就職者、専修学校等入学者、不詳・死亡
の各項目に該当しない者で進路が未定である
ことが明らかな者である。いわゆる NEET（ニート）
も「上記以外の者」に含まれる。

I-2 進学入学状況 — 進学率は高い水準を維持

高等学校等への進学者数は19,515人となり、前年度より782人減少し、男女別にみると男子は9,849人で同488人減少し、女子は9,666人で同294人減少している。

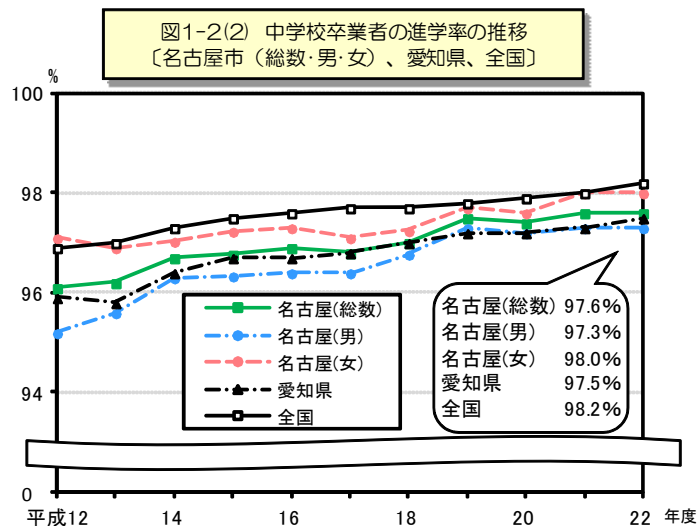
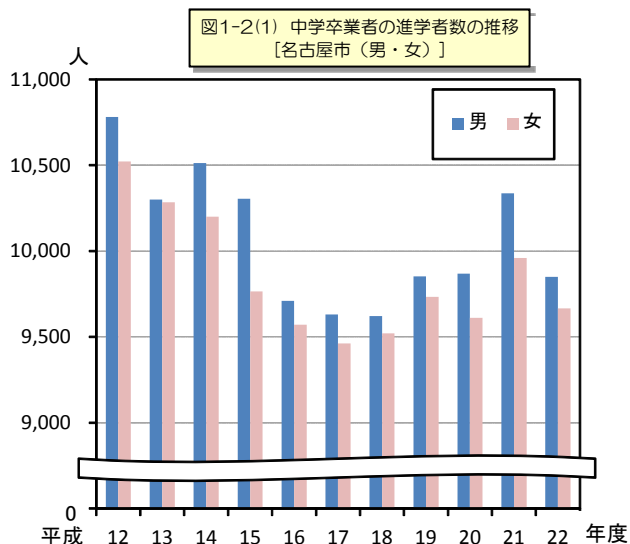
卒業生総数に占める割合は97.6%で、男女別では男子97.3%、女子98.0%で、いずれも前年度調査と変わらなかった。

参考までに、愛知県では高等学校等進学率が前年度と比べて0.2ポイント上昇し97.5%となっている。また、全国では高等学校等進学率が98.2%で前年度に比べ0.2ポイント上昇している。名古屋市の数値と比較すると、愛知県は名古屋市より低く、全国は名古屋市より高くなっている。 [付表1-2、図1-2(1)(2)、第1表]

付表1-2 中学校卒業者の進学者及び進学率の推移

年 度	実 数 (人)			進 学 率 (%)								
	名 古 屋 市						愛 知 県			全 国		
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
平成12年	21,302	10,780	10,522	96.1	95.2	97.1	95.9	95.0	96.9	96.9	96.3	97.6
13年	20,584	10,299	10,285	96.2	95.6	96.9	95.8	95.0	96.6	97.0	96.5	97.5
14年	20,712	10,512	10,200	96.7	96.3	97.0	96.4	95.9	96.9	97.3	96.9	97.7
15年	20,071	10,305	9,766	96.8	96.3	97.2	96.7	96.2	97.1	97.5	97.2	97.8
16年	19,281	9,710	9,571	96.9	96.4	97.3	96.7	96.2	97.2	97.6	97.3	97.9
17年	19,092	9,630	9,462	96.8	96.4	97.1	96.8	96.4	97.3	97.7	97.4	98.0
18年	19,142	9,622	9,520	97.0	96.8	97.2	97.0	96.6	97.4	97.7	97.4	98.0
19年	19,586	9,853	9,733	97.5	97.3	97.7	97.2	96.8	97.7	97.8	97.6	98.1
20年	19,479	9,868	9,611	97.4	97.2	97.6	97.2	96.9	97.5	97.9	97.7	98.2
21年	20,297	10,337	9,960	97.6	97.3	98.0	97.3	97.0	97.6	98.0	97.8	98.3
22年	19,515	9,849	9,666	97.6	97.3	98.0	97.5	97.1	97.9	98.2	98.0	98.5

注) 通信制を含む。



次に、進学先別にみると、「高等学校本科」への進学者数が19,317人で、進学者総数の大部分(99.0%)を占めており、そのうち、「全日制」が18,284人と進学者総数の大半(93.7%)を占めている。 [付表1-3]

付表1-3 平成22年度中学校卒業者の進学先別進学者数

区 分	実 数 (人)			構 成 比 (%)		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総 数	19,515	9,849	9,666	100.0	100.0	100.0
高等学校本科	19,317	9,708	9,609	99.0	98.6	99.4
うち 全日制	18,284	9,106	9,178	93.7	92.5	95.0
うち 定時制	345	188	157	1.8	1.9	1.6
うち 通信制	688	414	274	3.5	4.2	2.8
高等専門学校	28	26	2	0.1	0.3	0.0
特別支援学校高等部本科	170	115	55	0.9	1.2	0.6

I-3 就職状況 ―女子の7割以上が第三次産業へ

就職者総数(就職進学者、専修学校等入学者のうちの就職者を含む)は126人で、前年度に比べ10人(7.4%)減少し、男女別にみると男子は98人で同7人減少し、女子は28人で同3人減少している。

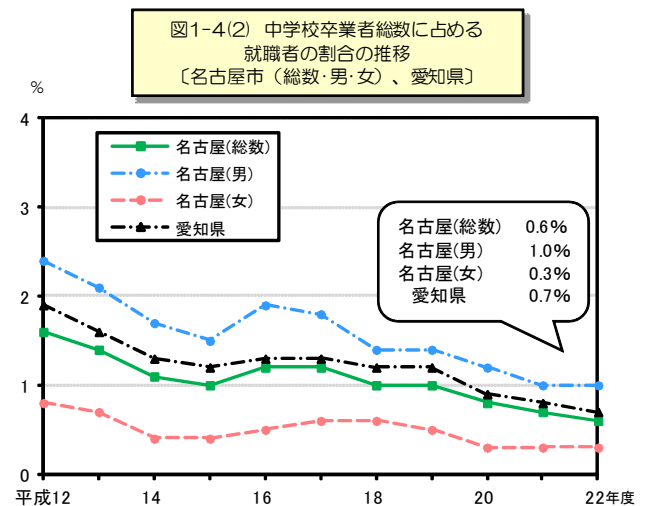
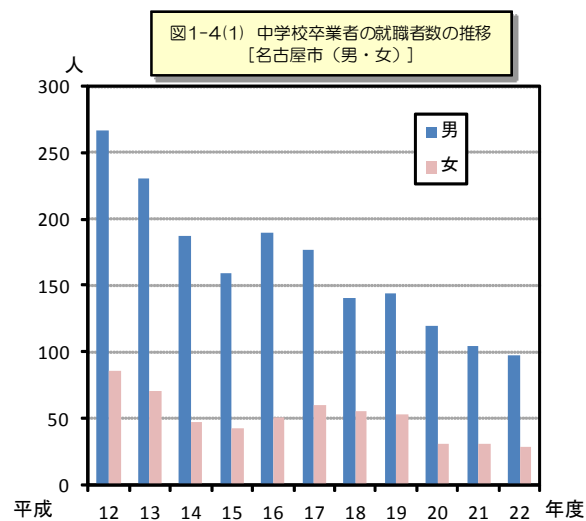
卒業生総数に占める就職者の割合は0.6%で、前年度と比べ0.1ポイント低下し、男女別でみると男子1.0%、女子0.3%で、前年度と変わらなかった。

参考までに、愛知県の卒業生総数に占める就職者の割合は0.7%で、名古屋市の数値と比較すると、0.1ポイント上回っている。

[付表1-4、図1-4(1)(2)、第1表]

付表1-4 中学校卒業者の就職者及び卒業生総数に占める就職者の割合の推移

年 度	実 数 (人)			卒業生総数に占める就職者の割合(%)		
	名 古 屋 市			愛 知 県		
	総 数	男	女	総 数	男	女
平成12年	353	267	86	1.6	2.4	0.8
13年	300	230	70	1.4	2.1	0.7
14年	234	187	47	1.1	1.7	0.4
15年	202	159	43	1.0	1.5	0.4
16年	241	190	51	1.2	1.9	0.5
17年	237	177	60	1.2	1.8	0.6
18年	196	141	55	1.0	1.4	0.6
19年	197	144	53	1.0	1.4	0.5
20年	151	120	31	0.8	1.2	0.3
21年	136	105	31	0.7	1.0	0.3
22年	126	98	28	0.6	1.0	0.3



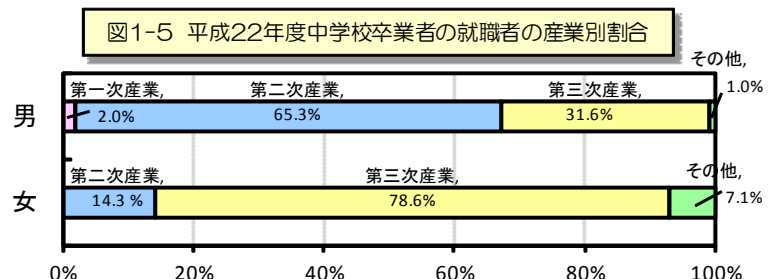
就職者を産業区分別にみると、第二次産業の68人(同54.0%)、次いで、第三次産業の53人(構成比42.1%)となっている。男女別では、男子は第二次産業が64人(同65.3%)、次いで、第三次産業の31人(同31.6%)となっているが、女子は第三次産業が22人(同78.6%)となっており、男女の就職先の特徴が見られる。

[付表1-5、図1-5]

付表1-5 平成22年度中学校卒業者の産業別就職者数

産 業	実 数 (人)			構 成 比 (%)		
	総 数	男	女	総 数	男	女
就 職 者 総 数	126	98	28	100.0	100.0	100.0
第 一 次 産 業	2	2	0	1.6	2.0	-
第 二 次 産 業	68	64	4	54.0	65.3	14.3
第 三 次 産 業	53	31	22	42.1	31.6	78.6
そ の 他	3	1	2	2.4	1.0	7.1

注)「その他」とは、分類困難なもの、不明なものをいう。



Ⅱ- 1 高等学校卒業者数は21,140人で2年連続増加

平成 22 年度に名古屋市内の高等学校を卒業した者は21,140人で、前年度に比べ594人(2.9%)増加した。高等学校卒業者は平成4年度から減少傾向にあったが、21年度は平成13年度以降8年ぶりに増加となり、今年度も増加となった。22年度の総数は平成3年度(33,545人)の63.0%となっている。

男女別にみると、男子は10,172人で、前年度に比べ339人(3.4%)増加した。女子は10,968人で、255人(2.4%)増加した。

[付表2-1、図2-1(1)、第2表]

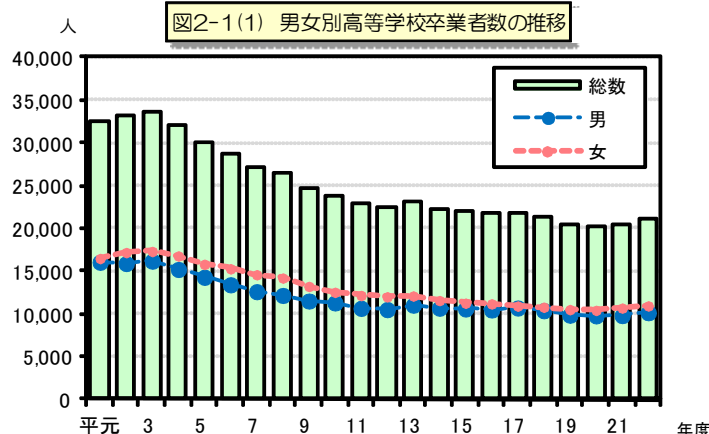
次に、状況別にみると、大学・短期大学等への進学者が12,710人(構成比60.1%)で最も多く、次いで専修学校等入学者(就職者を含む)が4,126人(同19.5%)、就職者(就職進学者及び専修学校入学者を含まない)が2,954人(同14.0%)、「上記以外の者」が1,028人(同4.9%)となっている。

卒業後の状況について、進学者の割合は平成14年度の50.3%から上昇を続けていたが、今年度は前年度より0.5ポイント減少し、60.1%となった。一方、専修学校等入学者の割合は前年度より0.2ポイント増加し19.5%、就職者の割合は前年度より0.4ポイント増加し14.0%、「上記以外の者」の割合は前年度より0.3ポイント増加し4.9%となった。男女別では、平成12年以降、女子の方が進学者の割合が高く、就職者、専修学校等入学者の割合が少なくなる。

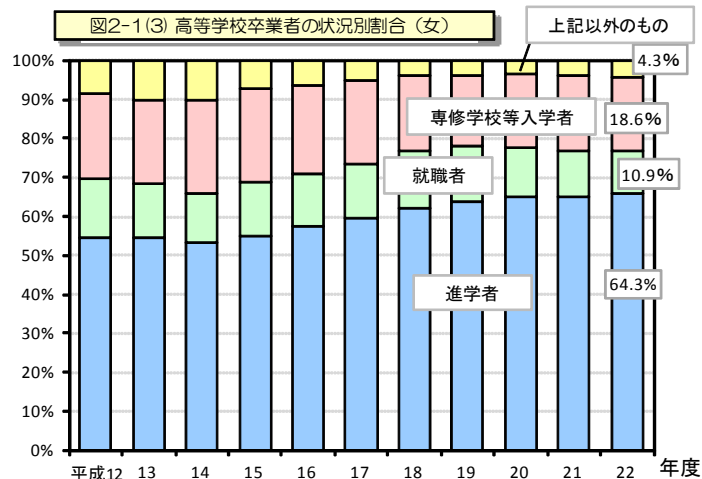
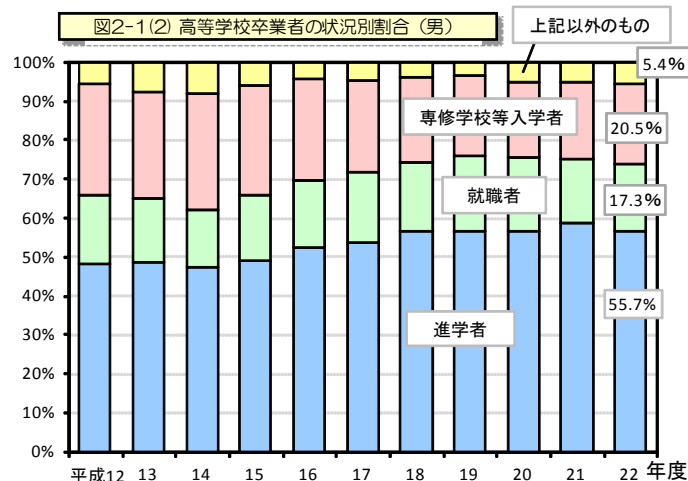
[図2-2(2)(3)、第2表]

付表2-1 高等学校卒業者数の推移

年度	総数	男	女
平成 元年	32,595	16,077	16,518
2年	33,142	15,922	17,220
3年	33,545	16,202	17,343
4年	32,041	15,238	16,803
5年	30,153	14,321	15,832
6年	28,764	13,446	15,318
7年	27,245	12,628	14,617
8年	26,420	12,202	14,218
9年	24,788	11,541	13,247
10年	23,888	11,325	12,563
11年	22,874	10,691	12,183
12年	22,567	10,542	12,025
13年	23,178	11,048	12,130
14年	22,298	10,698	11,600
15年	21,912	10,621	11,291
16年	21,710	10,500	11,210
17年	21,692	10,732	10,960
18年	21,231	10,412	10,819
19年	20,427	9,887	10,540
20年	20,270	9,813	10,457
21年	20,546	9,833	10,713
22年	21,140	10,172	10,968



※ 「上記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校に入学した者又は進学者、就職者、専修学校等入学者、不詳・死亡の各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。いわゆるNEET(ニート)も「上記以外の者」に含まれる。



Ⅱ-2 進学入学状況 — 男子の進学率が2.1ポイント下降

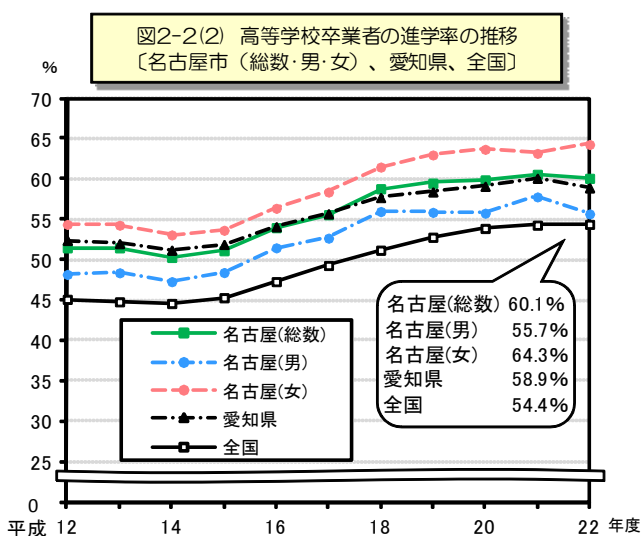
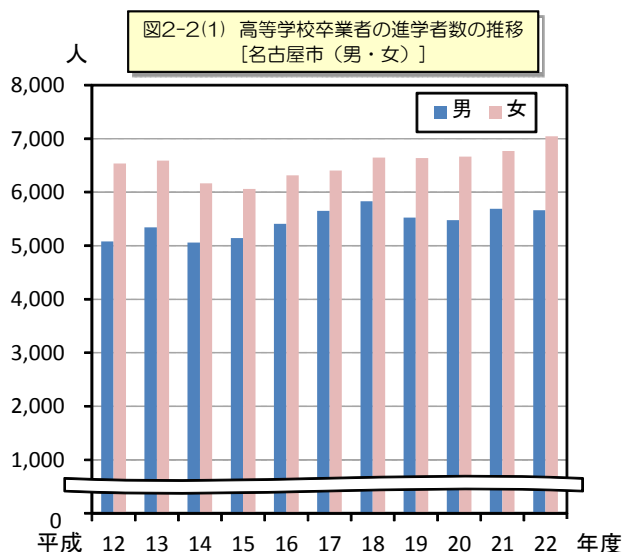
大学・短期大学等への進学者数は12,710人で、前年度より249人増加し、男女別にみると男子は5,661人で同27人減少し、女子は7,049人で同276人増加している。

卒業生総数に占める大学・短期大学等への進学者の割合（進学率）は、60.1%で、前年度に比べ0.5ポイント低下した。男女別では男子55.7%、女子64.3%で、進学率の男女差は前年度に比べ増加し、8.6ポイントであった。

参考までに、愛知県では大学・短期大学等進学率が58.9%で前年度に比べ1.2ポイント低下している。また、全国では大学・短期大学等進学率が54.4%で前年度に比べ0.1ポイント上昇している。名古屋市の数値と比較すると、愛知県は1.2ポイント低く、全国は5.7ポイント低くなっている。〔付表2-2、図2-2(1)(2)〕

付表2-2 高等学校卒業者の進学者及び進学率の推移

年 度	実 数（人）			進 学 率（％）								
	名 古 屋 市			愛 知 県								
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	男	女
12年	11,622	5,082	6,540	51.5	48.2	54.4	52.4	51.5	53.2	45.1	43.1	47.1
13年	11,932	5,343	6,589	51.5	48.4	54.3	52.0	51.2	52.7	44.8	42.8	46.9
14年	11,222	5,057	6,165	50.3	47.3	53.1	51.2	50.2	52.2	44.6	42.7	46.6
15年	11,204	5,144	6,060	51.1	48.4	53.7	51.9	51.1	52.7	45.3	43.6	47.1
16年	11,725	5,408	6,317	54.0	51.5	56.4	54.1	53.6	54.7	47.3	45.9	48.6
17年	12,057	5,653	6,404	55.6	52.7	58.4	55.7	55.1	56.2	49.3	48.1	50.6
18年	12,483	5,833	6,650	58.8	56.0	61.5	57.7	57.2	58.3	51.2	50.0	52.5
19年	12,164	5,527	6,637	59.5	55.9	63.0	58.4	57.4	59.5	52.8	51.4	54.3
20年	12,144	5,478	6,666	59.9	55.8	63.7	59.1	57.6	60.6	53.9	52.3	55.5
21年	12,461	5,688	6,773	60.6	57.8	63.2	60.1	58.7	61.5	54.3	52.7	55.9
22年	12,710	5,661	7,049	60.1	55.7	64.3	58.9	56.9	61.0	54.4	52.4	56.5



次に、進学先別にみると、「大学（学部）」への進学者数が11,694人で、進学者総数の大部分（92.0％）を占めている。男女別では、男子の98.5%、女子の86.8%が「大学（学部）」への進学者となっている。「短期大学（本科）」への進学者は1,006人で、進学者総数の7.9%を占めており、そのうち女子が929人と大半（92.3%）を占めている。〔付表2-3〕

付表2-3 平成22年度高等学校卒業者の進学先別進学者数

区 分	実 数（人）			構 成 比（％）		
	総 数	男	女	総 数	男	女
総数	12,710	5,661	7,049	100.0	100.0	100.0
大学（学部）	11,694	5,575	6,119	92.0	98.5	86.8
短期大学（本科）	1,006	77	929	7.9	1.4	13.2
大学・短期大学の通信教育部及び放送大学	9	8	1	0.1	0.1	0.0
大学・短期大学の別科	-	-	-	-	-	-
高等学校の専攻科	1	1	-	0.0	0.0	-
特別支援学校高等部専攻科	-	-	-	-	-	-

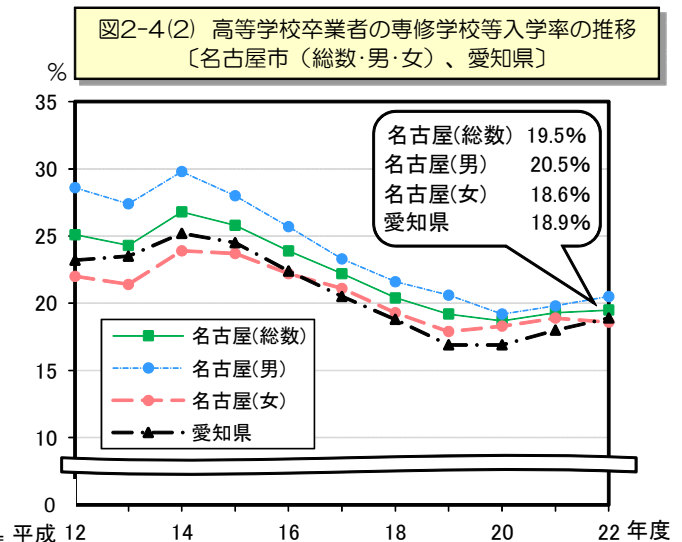
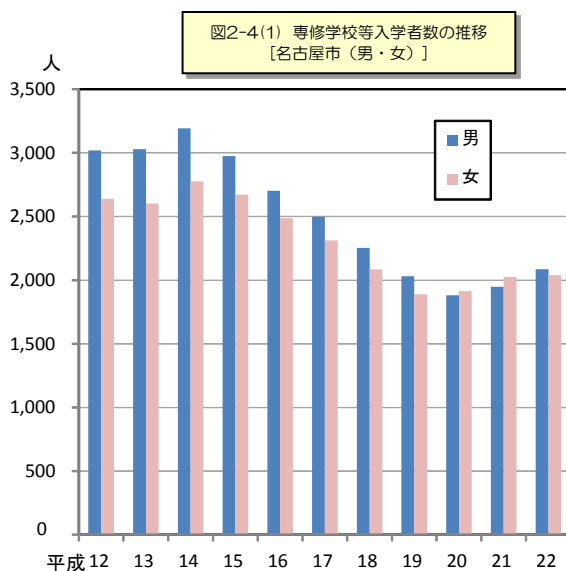
また、専修学校等入学者をみると、4,126人で前年度に比べ153人（3.9%）増加した。

男女別にみると、男子は2,087人、女子は2,039人となっており、専修学校等入学率をみると、男子は2年連続増加となり、女子は3年ぶりに減少となった。

[付表2-4、図2-4(1)(2)、第2表]

付表2-4 専修学校等入学者数の入学者及び入学率の推移

年 度	実 数 (人)			入 学 率 (%)			愛 知 県
	名 古 屋 市						
	総 数	男	女	総 数	男	女	
平成12年	5,659	3,019	2,640	25.1	28.6	22.0	23.2
13年	5,630	3,029	2,601	24.3	27.4	21.4	23.5
14年	5,969	3,192	2,777	26.8	29.8	23.9	25.2
15年	5,648	2,976	2,672	25.8	28.0	23.7	24.5
16年	5,191	2,703	2,488	23.9	25.7	22.2	22.4
17年	4,811	2,499	2,312	22.2	23.3	21.1	20.5
18年	4,338	2,254	2,084	20.4	21.6	19.3	18.8
19年	3,921	2,032	1,889	19.2	20.6	17.9	16.9
20年	3,794	1,881	1,913	18.7	19.2	18.3	16.9
21年	3,973	1,947	2,026	19.3	19.8	18.9	18.0
22年	4,126	2,087	2,039	19.5	20.5	18.6	18.9



Ⅱ-3 就職状況 —卒業者総数に占める就職者の割合は3年ぶりに増加

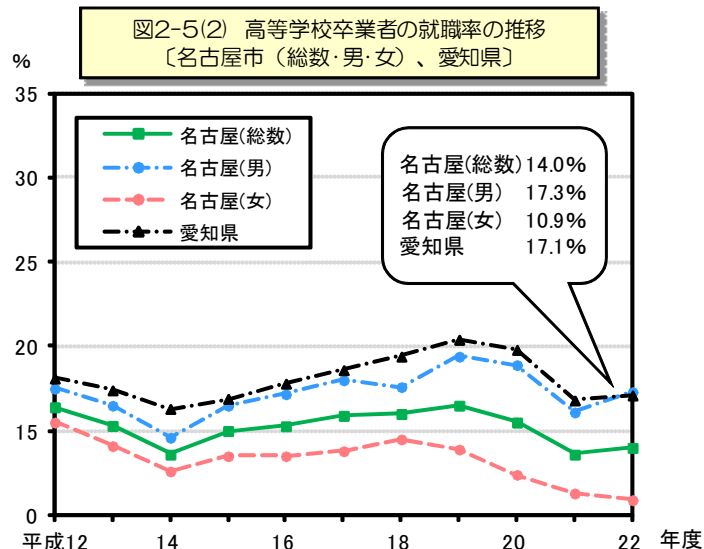
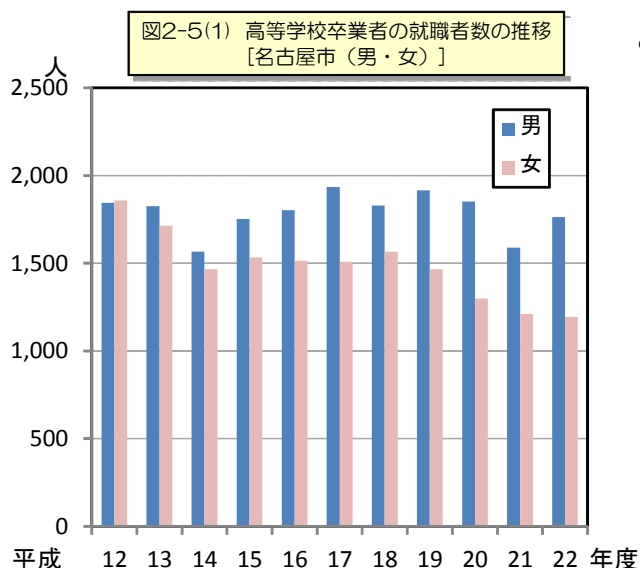
就職者総数（就職進学者、専修学校等入学者のうちの就職者を含む）は2,957人で前年度に比べ157人（5.6%）増加し、卒業者総数に占める就職者の割合は14.0%で前年度に比べ0.4ポイント上昇した。

男女別にみると、男子の就職者総数は1,763人で前年度に比べ175人（11.0%）増加し、卒業者総数に占める就職者の割合は17.3%で前年度に比べ1.2ポイント上昇した。女子の就職者総数は1,194人で前年度に比べ18人（1.5%）減少し、卒業者総数に占める就職者の割合は10.9%で前年度に比べ0.4ポイント低下した。

[付表2-4、図2-4(1)(2)、第2表]

付表2-5 高等学校卒業者の就職者、卒業者総数に占める就職者の割合の推移

年 度	実 数 （ 人 ）			卒業者総数に占める就職者の割合(%)			
	名 古 屋 市			愛 知 県			
	総 数	男	女	総 数	男	女	総 数
平成12年	3,703	1,845	1,858	16.4	17.5	15.5	18.1
13年	3,539	1,825	1,714	15.3	16.5	14.1	17.4
14年	3,031	1,566	1,465	13.6	14.6	12.6	16.3
15年	3,286	1,752	1,534	15.0	16.5	13.6	16.9
16年	3,317	1,803	1,514	15.3	17.2	13.5	17.8
17年	3,443	1,934	1,509	15.9	18.0	13.8	18.6
18年	3,396	1,829	1,567	16.0	17.6	14.5	19.4
19年	3,382	1,916	1,466	16.6	19.4	13.9	20.4
20年	3,149	1,851	1,298	15.5	18.9	12.4	19.8
21年	2,800	1,588	1,212	13.6	16.1	11.3	16.8
22年	2,957	1,763	1,194	14.0	17.3	10.9	17.1



次に、産業区分別にみると、今年度は第二次産業への就職者が53.6%となり、前年度より3.1ポイント上昇した。第三次産業への就職者は45.5%となり、前年度より2.8ポイント低下している。

男女別に平成14年以降の就職者の推移をみると、男子は平成17～20年には第二次産業への就職者が1,400人程度であったが、21年に減少し、22年には持ち直して1,220人となっている。第三次産業への就職者は500人前後となっている。女子は第二次及び三次産業への就職者が減少傾向となっており、平成22年には第二次産業が364人、第三次産業が822人となっている。

〔付表2-5、図2-5、第3表〕

また、業種別にみると、製造業1,274人（構成比43.1%）、卸売業・小売業442人（同14.9%）、建設業306人（同10.3%）の順となっている。

〔第3表〕

付表2-6 高等学校卒業者の就職者の推移

年度		14	15	16	17	18	19	20	21	22
総合 (人)	総数	3,031	3,286	3,317	3,443	3,396	3,382	3,149	2,800	2,957
	第一次	2	4	3	3	0	2	2	3	2
	第二次	1,450	1,668	1,791	1,923	1,860	1,907	1,843	1,414	1,584
	第三次	1,534	1,590	1,488	1,475	1,493	1,441	1,292	1,353	1,344
	その他	45	24	35	42	43	32	12	30	27
割合 (%)	第一次	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	第二次	47.8	50.8	54.0	55.9	54.8	56.4	58.5	50.5	53.6
	第三次	50.6	48.4	44.9	42.8	44.0	42.6	41.0	48.3	45.5
	その他	1.5	0.7	1.1	1.2	1.3	0.9	0.4	1.1	0.9
男 (人)	総数	1,566	1,752	1,803	1,934	1,829	1,916	1,851	1,588	1,763
	第一次	2	3	3	2	0	1	1	2	1
	第二次	1,011	1,171	1,275	1,392	1,343	1,392	1,349	1,085	1,220
	第三次	532	558	500	513	459	506	497	484	522
	その他	21	20	25	27	27	17	4	17	20
割合 (%)	第一次	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	第二次	64.6	66.8	70.7	72.0	73.4	72.7	72.9	68.3	69.2
	第三次	34.0	31.8	27.7	26.5	25.1	26.4	26.9	30.5	29.6
	その他	1.3	1.1	1.4	1.4	1.5	0.9	0.2	1.1	1.1
女 (人)	総数	1,465	1,534	1,514	1,509	1,567	1,466	1,298	1,212	1,194
	第一次	0	1	0	1	0	1	1	1	1
	第二次	439	497	516	531	517	515	494	329	364
	第三次	1,002	1,032	988	962	1,034	935	795	869	822
	その他	24	4	10	15	16	15	8	13	7
割合 (%)	第一次	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
	第二次	30.0	32.4	34.1	35.2	33.0	35.1	38.1	27.1	30.5
	第三次	68.4	67.3	65.3	63.8	66.0	63.8	61.2	71.7	68.8
	その他	1.6	0.3	0.7	1.0	1.0	1.0	0.6	1.1	0.6

注1) 就職者には就職進学者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。

2) 「その他」とは分類困難なもの、不明なものをいう。

